

2009年チーム美らサンゴ サンゴ再生プログラム活動実績報告

ご後援いただきました「チーム美らサンゴ 2009」の活動が終了し、下記の実績となりましたのでご報告いたします。

1. チーム美らサンゴ参加企業(計 12 社)

沖縄企業 6 社・東京企業 5 社・福岡企業 1 社が参画しました。詳細は下記の通りです。

東京都： 月刊ダイバー、ハチオウ、PADIジャパン、ANA、mic21

沖縄県： 沖縄タイムス社、琉球放送、オリオンビール、NEXCO 西日本沖縄、
沖縄海邦銀行、沖縄電力

福岡県： ヤマハ発動機

2. 後援・協力

チーム美らサンゴの運営に関し、下記の団体よりご後援・ご協力いただきました。

後援： 環境省、沖縄県、恩納村

協力： 恩納村漁業協同組合、(NPO)沖縄観光産業研究会、
サンシャイン国際水族館

3. サンゴ植え付け活動実績

サンゴ公開植え付けツアー開催し、その実績は下記の通りとなりました。なお今年は台風の影響などもあり参加者数は例年より減少していますが、一人当たりの植え付け本数を増やすことで参加者にご満足いただくと同時に、植え付け本数確保を行いました。サンゴの植え付け種類については、植え付けたサンゴの生育状況・生存状況等を勘案し、恩納村漁業共同組合により選定されています。昨年6種類だったところ、今年は10種類のサンゴを植えました。

開催回数 8回(4月～10月)

参加者合計 159名(ダイバー85人、ノンダイバー64人)

植え付け本数 229本

場所 恩納村海域

サンゴ種類 ショウガサンゴ、チヂミウスコモンサンゴ、ヒメマツミドリイシ、ウスエダミドリイシ、
タチハナガサミドリイシ、クシハダミドリイシ、スブラータ、ムギノホミドリイシ、
ヤッコミドリイシ、ホソエダミドリイシ
計 10 種

生育状況 別紙ご参照ください。

ホームページでの活動公開「チーム美らサンゴ」 <http://www.tyurasango.com/>

4. 植え付け活動参加者数詳細

参加人数 159 名の内訳について、下記の通りとなりました。

5月16日 第1回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー1名(PADI ツアー)

- 5月17日 第2回サンゴ植え付け
参加者 36名(ダイバー18名ノンダイバー18名)(一般公募)
- 6月13日 第3回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー16名(PADIツアー)
- 6月14日 第4回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー67名(ダイバー30名ノンダイバー37名)(一般公募)
- 9月27日 第5回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー2名(一般公募)
- 10月24日 第6回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー8名(PADIツアー)
- 10月25日 第7回サンゴ植え付け
参加者 26名(ダイバー17名・ノンダイバー9名)(一般公募)
- 11月7日 第8回サンゴ植え付け
参加者 ダイバー3名(PADIツアー)

※ 費用負担方法

チームは、ダイバーの備船代、指導料、さんご苗の合計金額として7,350円/人を負担する。参加者は、ダイビング実費(タンク代、用具レンタル代など)9,450円を負担する。また、ノンダイバーの指導料、サンゴ苗の合計金額として3,675円/人を負担する。

5. コーラルフォトコンテスト

海洋生態系保護や地域風土に関する普及啓発活動の一環として、『コーラルフォトコンテスト』を開催しました。写真を通じて多くの方々に豊かなサンゴの海の魅力や自然環境、活動を展開している地域『沖縄』の魅力を伝えること、親しみを感じていただくことを趣旨としています。合計207点の作品をご応募いただき、審査員による厳選の結果、下記の賞・作品を選出しました。応募作品は全てHP上でご覧いただける形式としています。

今後は授賞作品の持ち回り展示を実施予定です。(詳細検討中)

募集期間 : 5月1日～10月31日

結果発表 : 12月1日

応募・受付方法 : チーム美らサンゴHP上、およびパンフレットで告知。作品はHPより受付。

テーマ(部門) : サンゴ・サンゴ礁の生き物・サンゴを取り巻く人々・海辺の風景・沖縄

審査員 : チーム各企業・沖縄県・宇治川博司氏(写真家)・荒幡経夫氏(サンシャイン国際水族館館長)・ANAインターコンチネンタルホテル

賞 : グランプリ・各部門賞・海人賞・KIDS賞

展示 : 沖縄県庁・サンシャイン国際水族館他、沖縄・東京で展示を検討中。

以上